

ウェルネスとレガシーを軸にしたランドスケープの再創出

コンセプト

現在、富山市において推進されているコンパクトシティの施策は、OECDにおいて世界の先進5都市として報告書に取り上げられる等、国内外において高い注目と評価を得ています。ライトレールや市内電車環状線をはじめとした公共交通の活性化、グランドプラザやガラス美術館等の中心市街地の整備と再開発、まちなか居住推進事業等、それぞれが一定の成果をあげ今後のさらなる推進が期待される所です。一方でこれらハード面の充実と同時に必要となる基準軸として、人々がより良く生きるウェビーイングがあります。なかでも心と体の健康を維持する「ウェルネス」に目を向けると、中心市街地活性化基本計画区域内の大半を占める富山駅以南のエリアではその受け皿となる空間が不足しており、この空白地帯の充実を図ることが大切です。

次に「県庁周辺エリア」においては戦前からの姿を留める県庁舎と、長く県民に親しまれている県庁前公園が存在しています。これらは「富山駅周辺地区」と「中心商業地区」の中間という好立地に位置しているにもかかわらず、必ずしも十分な活用や、にぎわいをみせているとは言えない状況です。歴史的経緯とその条件が持つポテンシャルを最大限に引き出し、次世代へつなげる「レガシー」として整備することで、多くの人々が訪れ、創出される活気を持って南北両地区を結びつける場として機能させます。

本提案では上記の「ウェルネス」と「レガシー」を2つを軸としてランドスケープの再整備を行い、人と活力があふれる場の創出を提案します。

	イベント/文化	スポーツ/健康	公園	商業
富山駅周辺地区	北口 オーバードホール 富山県美術館	富山市総合体育館	富岩運河環水公園	
県庁周辺エリア	南口 駅前広場			CIC マリエ マルト
中心商業地区	県民会館		城址公園	総曲輪通り商店街 中央通り商店街 大和百貨店
	グランドプラザ ガラス美術館			

計画概要・方針

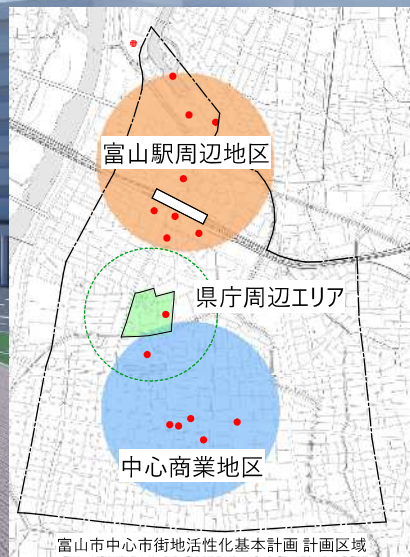
対象コアエリアに「レガシー」と「ウェルネス」の2つのゾーンを設定し、エリアを東西に貫くプロムナードを整備する。現状では樹木等によって分断されているコアエリア全体を一つの空間へと統合し、豊かでのぎわいがあふれるランドスケープへの転換を図る。

■レガシーゾーン

県庁前公園東側と県庁敷地を対象とする。連続する歴史を尊重すると同時に、そのポテンシャルを引き出し、幅広い世代が訪れ楽しめる空間とする。

■ウェルネスゾーン

県庁前公園西側と旧NHK富山放送会館跡地を対象とする。県民に運動とスポーツの場を提供し、その立地から生じる高い視認性を活かしてウェルネスへの意識の向上を図ることを目的とする。



01.レガシーゾーン

国の登録有形文化財である県庁舎を筆頭に、大噴水や花時計等を備えた県庁前公園は、長年県民に親しまれてきた貴重な財産です。これら既存の施設等は、その歴史的経緯や人々の想いを尊重し、原則として元の姿を伝える改修や修繕に留めます。また昭和初期のモダニズム建築である県庁舎は、歴史的価値に加えてそのクラシックな外観から観光資源としても大きな可能性を秘めています。本ゾーンではそのポテンシャルを最大限に引き出すことで、県外や国外からの来訪者も訪れ、幅広い年代の県民がくつろぎ愛されるゾーンとして整備します。

県庁舎

可能な限り増築部等を撤去することで建設当初の姿を復元し、ランドスケープの景観に組み込み、休日には一般開放することで観光にも活用します。

県庁舎前広場

緑地と石畳を備えた空間を設け、併せて建物の中心軸にそった動線を配置することで、ファサードを強調し、その魅力を最大限に引き出します。

噴水プール（大噴水）

噴水はその記憶を留めつつ維持管理がしやすくシンプルなデザインへと改修し、訪れる人々に潤いを与えます。夏季においては子育て世代も楽しめる水遊びの場としても活用します。

芝生広場

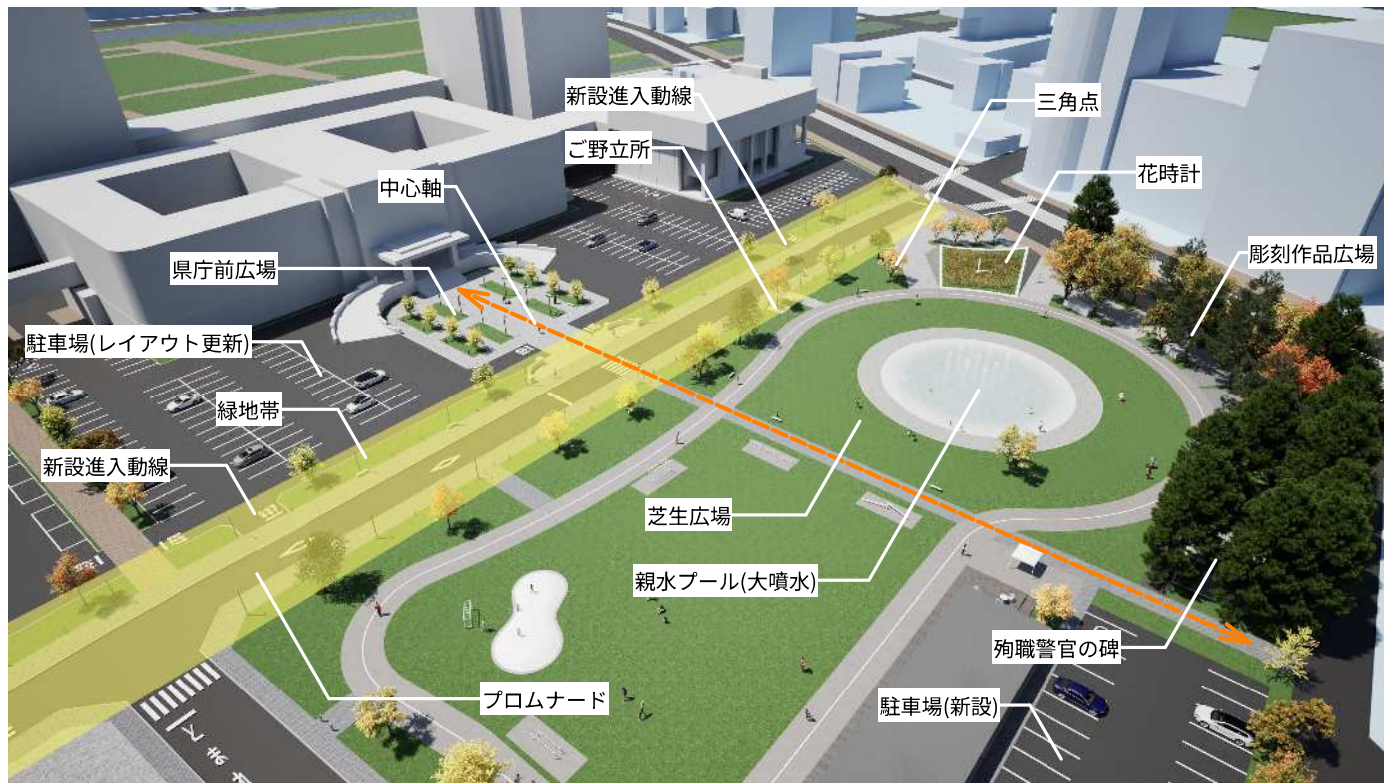
噴水プール周囲全面を芝生敷とし、人々が思い思いにくつろげる場を提供します。

花時計/彫刻作品広場/殉職警官の碑等

その他の既存の施設は柵の再整備等の最小限の修繕にとどめます。静けさをもたらす植栽は現状を引き継ぎます。

その他

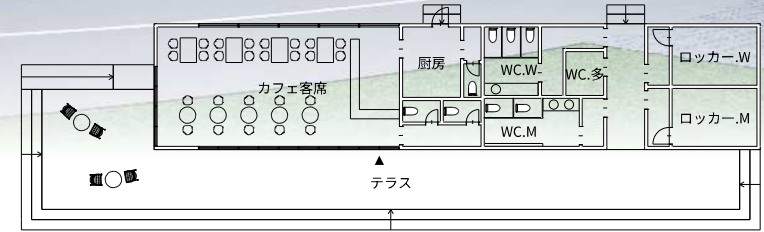
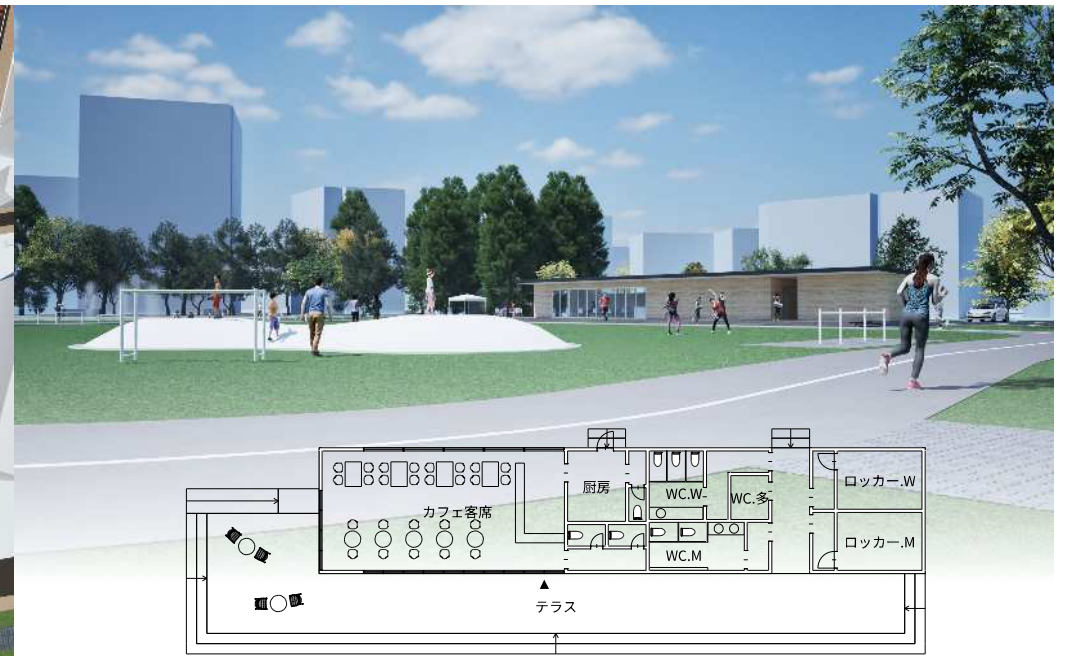
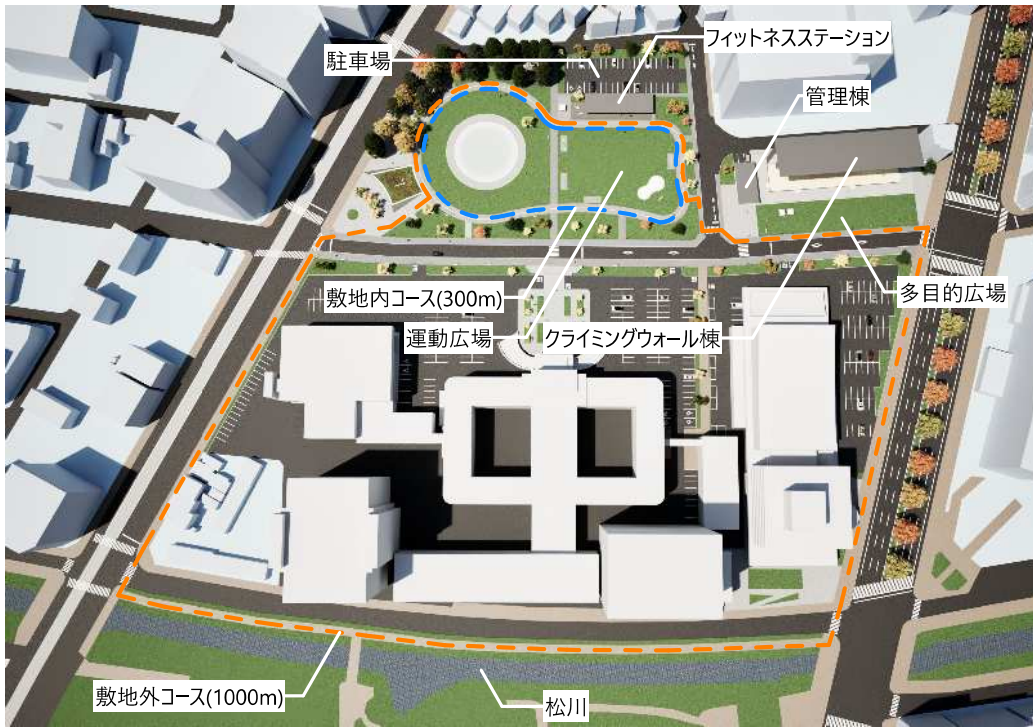
県美術館で採用されたアルミベンチ等の屋外設備や、照明計画等において、県内の他の施設と統一されたデザインポリシーを設定、採用します。



プロムナード

城址大通りとすずかけ通りをつなぐ道路をエリア全体を統合する、明るく開放的な散策路として整備します。互いの樹冠が重なるまで成長し、視線を遮るヒマラヤ杉の並木はその役割を尽くしたと考え、伐採ののち製材することで、施設内に新設する建物に再活用します。文化ホール道路に面した駐車スペースの一部を緑化し、そこから県議会議事堂まで連続する緑地帯を形成します。美観とバリアフリー、除雪にも配慮し、舗装を全面的に改修します。





フィットネスステーション平面図

02.ウェルネスゾーン

「フィットネスステーション」を中心に低負荷で多くの人々が参加できる運動施設と、オリンピックの正式種目にも採用された「スポーツクライミング」の施設を計画します。

ウォーキングやランニング等の運動の起点となるフィットネスステーション、300mの敷地内コース、運動広場、運動器具、子供向け遊具等を整備し、松川沿いをはしる距離ポストを備えた1000mの敷地外コースを設定します。

施設では着替えやロッカー、シャワーやトイレの利用が可能とします。加えて近年の都市型公園のほとんどの成功事例に設けられるカフェを併設します。エリア全体への来訪者の休憩と飲食を提供し、活気にぎわいあるランドスケープを形成します。Park-PFIによる施設運営の可能性も確保します。

スポーツクライミングは性別や年代、レベルに限定されず楽しめる全身運動です。3つの種目から構成され、県内では特にボルダリング競技は多くの民間ジムが運営され人気を博しています。一方リード競技場は城端の桜ヶ池の一ヶ所に限られ、スピード競技場は存在せず練習の機会がありません。

本計画では国際基準（IFSC）にも対応する競技場を備えたクライミングウォール棟を計画し、民業にも配慮しつつ、一般への利用開放と、大規模大会の開催も可能な計画とします。ステージと大型モニタ、芝生敷の多目的広場を備えることで、クライミングに限定されず、各種発表やパブリックビューイング等のイベントにも対応した多目的な活用が可能となる施設とします。雄大な立山連峰を有し登山も盛んな本県のイメージにも相応しく、その大きなボリュームは、メインストリートである城址大通りから強い視認性を持ち、富山県民の運動と健康づくりへのシンボルとして機能することでしょう。

